

山行報告書

作成: 2008年11月24日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	富士見台(1739m) [木曾]	目的[方法]	アルプス展望
期間	2008年11月22日(土)~23日(日)	形態	テント携行避難小屋泊
参加人数	4人		

行動記録:

11/22(土) 快晴、弱風、6 @横川山

河合池運動公園(500) =0:35= 足助マルK(535,545) =0:55= 道の駅「平谷」(640,645) =0:40= ふるさと村自然園(725,810) -0:05- 尾根コース登山口(815) -1:45- 尾根/沢コース分岐(1000,1015) -1:05- 南沢山(1120,1130) -0:45- 横川山(1215,1245) -0:30- P1578m(1315) -0:25- 横川の名水(1340,1350) -0:55- 富士見台(1445,1450) -0:10- 神坂小屋(1500,1505) -0:20- 萬岳荘(1525) T S 1 就寝(1930)

11/23(日) 霧、弱風、-2 @富士見台

起床(330) T S 1(535) -0:25- 神坂小屋(600) -0:12- 富士見台(612,625) -0:30- 横川の名水(655,707) -0:23- P1578m(730) -0:30- 横川山(800,805) -0:25- 南沢山(830,855) -0:35- 尾根/沢コース分岐(930,945) -1:00- 尾根コース登山口(1045) -0:05- ふるさと村自然園(1050,1110) =0:20= 昼神温泉(1130,1245) =0:15= 蕎麦「勝縁」(1300,1410) =2:10= 河合池運動公園(1620)

概念図:



アプローチ・登山メモ:

道路状況

- ・R153, R256: 雪なし、-3
- ・自然園: 積雪 5cm、凍結あり
ふるさと村自然園
- ・駐車: ¥500/台
- ・トイレ使用不可(冬季閉鎖)
- ・管理棟: 「森の家」
(両日とも不在)
萬岳荘
- ・宿泊: ¥500/人
- ・薪: ¥300/回
- ・冬季トイレ: ¥100/人
(宿泊者は不要)
- ・薪ストーブで暖かく過ごせる
(取扱い説明書掲示)
使用後、灰の始末すること
- ・給水施設: 冬季使用不可
神坂小屋
- ・大(8人)、小(4人)2棟あり
- ・トイレは大棟に併設(外周り)
- ・水なし(雪あり)

日誌:

積雪は登山道を薄っすらと覆う程度で、木の根、落葉が隠れて滑り易い。「尾根/沢コース分岐点」辺り、青空に純白の霧氷の花が満開で清々しい。南沢山から展望を求めて横川山へと進む。樹氷、エビの尻尾・・・雪の造形を楽しみながら笹原を漫歩する。横川山は360度の大展望! 南ア、中アと銀嶺が連なる。さらに穂高連峰、乗鞍岳、御嶽山と続く。

横川山から富士見台は始めて歩く。予想外に良く整備され、利用されているようすだ。横川山からの下り背丈ほどの笹だが、1m幅ほどしっかりと刈られている。「横川の名水」は雪に埋もれる前で、まだはっきりと水音が聞こえる。富士見台手前の標高1675m付近には薄氷が張った池が点在している。進行方向が90度左に曲がって南東に進むようになると石混じりの道となり(凍結時の下りは注意)すぐに山頂広場に到着する。横川山を凌ぐ大展望がここまでの苦労を労ってくれる。「萬岳荘」冬季小屋が安価な料金で利用できる。薪ストーブを焚けば寒さ知らずだ。

23日、外は一面の深い霧である。薪ストーブの灰の始末、小屋の清掃をして出発する。登山道は凍結していないが、用心のため軽アイゼンを装着する。山頂でのご来光が期待できず、帰り道を急ぐことにした。横川山への登り返して振り返れば、富士見台は雲の中にあった。雲海に浮かぶ南ア展望を楽しみながら、帰路の温泉、お蕎麦を楽しみに降りていく。

感想:

寒波の置き土産で、思いがけず、新雪歩き、霧氷観賞、アルプス銀嶺展望と素晴らしい山行を楽しめました。